



## 2024年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年7月16日

上場会社名 株式会社アスマーク 上場取引所 東  
コード番号 4197 URL <https://www.asmarq.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 町田 正一  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 飯田 恭介 TEL 03 (5468) 8181  
四半期報告書提出予定日 2024年7月16日 配当支払開始予定日 2024年8月9日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年11月期第2四半期の業績（2023年12月1日～2024年5月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第2四半期	2,401	—	318	—	307	—	213	—
2023年11月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第2四半期	195.27	184.30
2023年11月期第2四半期	—	—

(注) 当社は2023年12月4日に東京証券取引所スタンダード市場に上場したため、2024年11月期第2四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2024年5月末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期第2四半期	2,340	1,433	60.4
2023年11月期	1,898	1,023	53.2

(参考) 自己資本 2024年11月期第2四半期 1,414百万円 2023年11月期 1,010百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年11月期	—	35.00	—	—	—
2024年11月期（予想）	—	—	—	37.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年11月期の業績予想（2023年12月1日～2024年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,720	10.2	360	13.6	366	10.1	260	10.1	240.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年11月期2Q	1,105,900株	2023年11月期	1,000,000株
② 期末自己株式数	2024年11月期2Q	35株	2023年11月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年11月期2Q	1,094,060株	2023年11月期2Q	1,000,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における世界経済は、大幅な減速を回避し、緩やかながらも成長軌道を確保している傾向にあります。米国経済は高成長が続き、長引く金融引き締めの中なかでも、コロナ禍の財政支援などによる家計貯蓄が消費の原資となり、堅調に推移すると見られ、欧州経済は、回復の兆しとして、実質賃金の増加により消費が緩やかに持ち直すと見られています。中国経済は、不動産低迷の下押しを景気刺激策で補い、緩慢な雇用回復のもと不動産需要や消費の急回復は見込み難いものの、財政支出拡大、世界の脱炭素関連需要、財需要回帰による輸出回復が成長を下支えすると見込まれています。

日本経済は、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響などからマイナス成長に転じ、景気は踊り場と判断されていますが、生産・出荷は段階的に再開されており、先行きは内需主導の成長軌道に復すると予測されています。また24年春闘における賃上げ率上昇により、家計の所得環境は改善し、個人消費は持ち直しに転じると見られています。

このような経済環境のもと、当社においては、業績が堅調に推移いたしました。クライアントによるマーケティング・リサーチ需要は依然として高まりつつあり、主に飲料業界、化粧品業界及び情報・通信業界からの受注が伸長いたしました。サービス別で見ると、対面でのグループ・インタビューやデブスインタビューといったオフライン調査の受注が、依然として大きく伸長しており、インターネットリサーチの受注も好調に推移いたしました。国内外における景気は落ち着きを見せつつも、依然として将来への見通しが難しい中、引き続き環境変化に合わせた柔軟な対応を継続的に行っております。

この結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高2,401,104千円、営業利益318,360千円、経常利益307,872千円、四半期純利益213,634千円となりました。

なお、当社はマーケティング・リサーチ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、2,340,736千円となり、前事業年度末に比べ442,264千円増加いたしました。これは主に、売掛金が130,458千円、仕掛品が33,009千円、その他流動資産が16,653千円減少したものの、現金及び預金が620,985千円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、907,548千円となり、前事業年度末に比べ32,557千円増加いたしました。これは主に、買掛金が45,189千円、賞与引当金が16,062千円減少したものの、未払法人税等が55,439千円、その他流動負債が34,491千円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、1,433,187千円となり、前事業年度末に比べ409,707千円増加いたしました。当第2四半期累計期間において東京証券取引所スタンダード市場へ新規上場したことに伴う公募による募集株式発行及び新株予約権の行使に際しての払込により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ95,590千円増加したことに加え、当第2四半期累計期間の四半期純利益が213,634千円となったことによる利益剰余金の増加213,634千円が主な変動要因であります。

### (3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前事業年度末と比べ620,985千円増加し、1,516,098千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、450,778千円の収入となりました。これは主に税引前四半期純利益307,872千円、売上債権の減少額134,630千円、仕掛品の減少額33,009千円、減価償却費18,655千円などの資金の増加要因に対し、法人税等の支払額54,274千円、仕入債務の減少額45,189千円などの資金の減少要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、21,182千円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出5,945千円、無形固定資産の取得による支出15,442千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、191,390千円の調達となりました。これは主に株式の発行による収入179,860千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入11,626千円があったことによるものであります。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月期通期業績予想につきましては、2024年1月15日公表の予想数値から変更ございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年11月30日)	当第2四半期会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	895,112	1,516,098
受取手形	5,879	1,707
売掛金	509,063	378,604
仕掛品	64,445	31,435
その他	49,525	32,872
貸倒引当金	△4,760	△6,669
流動資産合計	1,519,265	1,954,049
固定資産		
有形固定資産	52,442	52,532
無形固定資産	98,477	104,953
投資その他の資産		
その他	232,287	233,202
貸倒引当金	△4,001	△4,001
投資その他の資産合計	228,285	229,200
固定資産合計	379,205	386,686
資産合計	1,898,471	2,340,736
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	152,255	107,066
未払法人税等	54,853	110,292
賞与引当金	81,715	65,653
ポイント引当金	234,869	239,406
その他	256,877	291,369
流動負債合計	780,572	813,788
固定負債		
退職給付引当金	57,788	60,573
その他	36,630	33,186
固定負債合計	94,418	93,759
負債合計	874,991	907,548
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	50,000	145,590
資本剰余金	—	95,590
利益剰余金	960,176	1,173,810
自己株式	—	△96
株主資本合計	1,010,176	1,414,895
新株予約権	13,303	18,292
純資産合計	1,023,480	1,433,187
負債純資産合計	1,898,471	2,340,736

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
売上高	2,401,104
売上原価	1,419,941
売上総利益	981,163
販売費及び一般管理費	662,802
営業利益	318,360
営業外収益	
受取利息	4
為替差益	354
広告料収入	592
補助金収入	2,138
その他	363
営業外収益合計	3,452
営業外費用	
上場関連費用	13,291
株式交付費	629
その他	19
営業外費用合計	13,940
経常利益	307,872
税引前四半期純利益	307,872
法人税、住民税及び事業税	96,441
法人税等調整額	△2,202
法人税等合計	94,238
四半期純利益	213,634

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	307,872
減価償却費	18,655
株式報酬費用	4,988
上場関連費用	13,291
株式交付費	629
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,908
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,062
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	4,537
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,785
受取利息	△4
補助金収入	△2,138
売上債権の増減額 (△は増加)	134,630
仕掛品の増減額 (△は増加)	33,009
仕入債務の増減額 (△は減少)	△45,189
その他	62,551
小計	521,466
利息の受取額	4
上場関連費用の支出	△13,291
株式交付費の支出	△3,126
法人税等の支払額	△54,274
営業活動によるキャッシュ・フロー	450,778
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△5,945
無形固定資産の取得による支出	△15,442
敷金及び保証金の回収による収入	205
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,182
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
株式の発行による収入	179,860
新株予約権の行使による株式の発行による収入	11,626
自己株式の取得による支出	△96
財務活動によるキャッシュ・フロー	191,390
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	620,985
現金及び現金同等物の期首残高	895,112
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,516,098



（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2023年12月4日における東京証券取引所スタンダード市場への株式上場にあたり実施した公募増資及び新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ95,590千円増加しております。この結果、当第2四半期会計期間末において資本金が145,590千円、資本剰余金が95,590千円となっております。